琉球病院 Monthly
独立行政法人
国立病院機構　琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital
Vol.144
2026. November
発行者　琉球病院事務部長
岩崎　吉洋

基本理念　この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

R８年熊本地震ＤＰＡＴ活動報告

DPATインストラクター　心理療法士　**諸見　秀太**

本年7月28日に発生した熊本地震におけるDPAT活動に参加してきました。この地震では、熊本県宇城市、八代市で最大震度7を観測し、甚大な被害が発生しました。

当院からは8月18日から22日まで、DPATインストラクター1名を派遣しました。主な活動内容は、熊本地震DPAT調整本部における活動コーディネート、全国から派遣されている日本DPATの撤収および地元熊本DPATへの引継ぎ調整、さらに被害の大きかった宇城・八代地域におけるDPAT指揮所・活動拠点本部撤収後の支援体制の調整でした。

派遣期間中は、被災者でありながら支援者として活動している医療従事者、行政職員、保健所職員などに、身体的・心理的な疲弊が強くみられ、支援者支援が重要な課題の一つとなっていました。中には発災後ほとんど休むことなく支援業務に従事している職員もおり、断水の影響で、業務の合間に洗濯や入浴のため生活圏外へ移動せざるをえない状況もみられました。

そのような状況の中、DPAT活動を地元の熊本DPATや保健師の皆さまに引き継ぐにあたり、地域の負担をできる限り増やさないことを重視しました。現場のニーズを丁寧に把握しながら実現可能な支援体制へと落とし込み、状況の変化に応じて柔軟に修正できる被災者のメンタルヘルス支援体制の構築を念頭に、調整業務を行いました。

今回の派遣は1名での活動でしたが、派遣準備や派遣期間中のバックアップなど、病院全体で支援活動を支えていただきました。そのおかげで、安心して現地活動に取り組むことができ、円滑な支援につなげることができました。被災地支援は現在も続いています。被災された地域の1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



今回の経験を今後の災害支援活動にも活かしてまいります。

地域連携室だより

精神保健福祉士　中軽米　範恵

琉球病院では、8月より毎月第2金曜日14時~15時半で「アルコール薬物等家族教室」がスタートいたしました。ご家族のアルコール・薬物問題で悩まれているご家族を対象としています。現在、琉球病院通・入院中のご家族だけでなく、現在どこの精神科(心療内科)に繋がっていない方のご家族も参加可能です。どういう声かけや対応をしたらよいか困っている、悩んでいるご家族、おひとりで抱えず、是非当院家族教室へご参加ください。問い合わせ先は以下の通りです。(3日前までにご連絡お願いします。)皆様のご参加お待ちしております。

問い合わせ先：琉球病院 098-968-2133　北1病棟・外来・地域連携室

院　長



ふくじ　やすひで
福治　康秀

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。
1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。
95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。
日本森田療法学会理事。
日本病院・地域精神医学会理事。
琉球大学医学部　臨床教授。

診療科

- 一般精神科
- こども心療科
- クロザリル外来
- アルコール依存症等外来

病床数　353床

・精神 (一般精神・クロザピン専門・精神科救急)	151床
・アルコール依存症	44床
・児童思春期ユニット	4床
・重症心身障がい	90床
・医療観察法	37床

那覇市からのアクセス



路線バス　那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分

自動車　那覇市から40分沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

お問い合わせ

時間　8:30 ~ 17:15
(土・日・祝日・年末年始以外)
TEL　098-968-2133(代)
内線　231・234

地域医療連携室（直通）

TEL　098-968-3550
FAX　098-968-7370

〒904-1201　沖縄県国頭郡金武町金武 7958-1
(HP) http://ryukyu.hosp.go.jp
代表電話　098-968-2133
ＦＡＸ　098-968-2679
地域医療連携室　ＦＡＸ　098-968-7370

治療抵抗性精神疾患への医療

精神科医長　　木田　直也



クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症の患者さんに対して、当院では2010年からクロザピン(CLZ)治療を開始し、登録症例数は延べ465例になりました。2026年９月のCLZ登録症例は２例で、そのうち１例は他の精神科病院に入院中の患者さんでした。CLZ導入前には、暴力行為や多飲水などの問題行動のために、隔離や身体拘束が必要な患者さんも多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動が消失、もしくは軽減し、ほとんどの症例で隔離や身体拘束は解除できています。週に３回のCLZ専門外来も行っていますので、患者さんのご紹介をお願いいたします。

精神科救急急性期病棟紹介

東Ⅰ病棟師長　　湧川　傑

当病棟は、平成31年４月から精神科急性期病棟(スーパー救急病棟)として運営しています。入院患者は精神科急性期特有の陽性症状や著明な陰性症状を呈しているため、リスク管理を中心とした精神科治療が優先され、時に患者さんの安全を守るために治療上の指示に基づいた行動制限やセルフケア援助を中心とした手厚いケアを必要とします。また、90日以内での退院を目指し日々、精神症状や人格特性への理解、観察力や状況判断、リスクアセスメント能力、コミュニケーション能力等、多職種と連携し医療を提供することが求められます。当病棟の使命は、病院理念「この病院で最も大切な人は医療を受ける人である。」とあるように患者さんに寄り添い、早期から効果的な治療を提供することで、精神症状からの回復を支援し、社会復帰を促進していくことです。これからも患者さんに寄り添い、多くの患者さんの回復を支援していきます。

クロザピン病棟の紹介

東Ⅱ病棟師長　　仲村　智子

薬物療法の進歩により統合失調症の大部分は良くなる時代となりました。しかし、お薬を飲んでも思うように症状が改善しない治療抵抗性統合失調症と呼ばれる統合失調症があります。治療抵抗性統合失調症とは、「十分な薬物療法を行っても治りにくい反応性不良」、「副作用のために薬を増量できない、中止しなければならない耐用性不良」という２つのタイプがあります。このような治療抵抗性統合失調症を対象として、有効性が認められている薬がクロザピンです。当病棟は、平成27年に日本で初めて治療抵抗性統合失調症のクロザピン治療専門病棟とし開設され、運営しています。病棟医を中心に多職種が協働し、精神症状で困っている患者さんやご家族が安心できる治療・看護を提供しております。クロザピン治療はクリニカルパスを用いて、入院期間６か月を目標に掲げ、約１か月に１回のケース会議(患者さん・ご家族・医師・看護師・PSW・退院先の施設・地域の役所関係者等)を開催しています。患者さん・ご家族を中心に話し合いをしながら、計画的な治療及び積極的な退院支援を進めています。患者さん・ご家族にとってより良い療養環境を整え、地域移行支援に向けて努力して参ります。

食事から広がる楽しみ ～バイキング・イベント食～

栄養管理室　　宮平　明奈

琉球病院では、患者さんに日々の食事をより楽しんでいただくため、患者サービス向上委員会のスタッフと栄養管理室スタッフが協力し、各病棟年に１回「バイキング・イベント食」を実施しています。７月にデイケア、９月に東Ⅱ病棟で開催しました。デイケアでは、患者さんの希望を反映し、チキンライス、グラタン、エビフライ、夏の温野菜サラダ、チョコバナナフラペチーノなどを提供しました。患者さんの目の前で仕上げるフラペチーノは臨場感もあり、特別なひとときを楽しんでいただきました。東Ⅱ病棟では、手作りクリームソーダ風ゼリーやキャラメルケーキに、純喫茶のオーダー票風カードを添えて提供しました。「とても美味しかった」「またやってほしい」と好評でした。中には、「コンビニスイーツに出せる！」とのお声もいただきました。患者さん一人ひとりの、治療食や噛む力・飲み込む力に配慮しながら、これからも「安心・安全で美味しい食事」を通して、入院生活に楽しみや彩りを届けてまいります。







琉球病院ホームページのご紹介

入院係　　甲斐　伊織

琉球病院では、患者さんやご家族の皆さま、医療関係者・地域の皆さまに病院の情報をより分かりやすくお伝えするため、ホームページを運営しています。ホームページでは、外来・入院に関するご案内をはじめ、診療科や部門の紹介、病院からのお知らせなどさまざまな情報を掲載しています。また、採用情報や各種相談窓口についても確認することができ、スマートフォンやパソコンからいつでも閲覧できます。さらにホームページに「ホームページ利便性アンケート」を設置しています。皆さまからいただいたご意見やご要望を参考により見やすく、使いやすいホームページづくりに取り組んでいます。是非アンケートへのご協力をお願い致します。病院の最新情報をお届けしていますので、是非琉球病院ホームページをご活用ください。

〒904-1201　沖縄県国頭郡金武町金武 7958-1
(HP) http://ryukyu.hosp.go.jp
代表電話　098-968-2133
ＦＡＸ　098-968-2679
地域医療連携室　ＦＡＸ　098-968-7370